

メグスリノキ茶

◎メグスリノキとは・・・

日本特産の落葉樹で、カエデ科に属します。

標高 700m 前後の山中にしか自生しません。山間地では古くから健康飲料の一つとして、親しまれてきました。

このメグスリノキの樹皮や枝を煎じて服用したら、肝機能低下や白内障による視力低下が改善したという例がたくさんあるのです。

これらの病気や症状の改善に卓効発揮する薬用植物はほかにありません。

◎メグスリノキの効果・・・

江戸時代の始め頃からメグスリノキの薬効が知られるようになったようです。

その頃は枝葉を煎じて眼のふちのただれやかすみ目、ものもらいなどに外用していたようです。よく効くので、この樹木に『メグスリノキ』という名がつけられたのです。

今では以下のような病気に効果があることがわかってきています。

白内障 緑内障 眼底出血 肝機能の改善

◎漢方的に見た作用・効力

- ・ 血の巡りをよくする。
- ・ 経路（エネルギーである気の通り道）の流れをよくする。
- ・ 水分の排泄を促し、むくみを取る。
- ・ 肝臓、腎臓の働きを助け、状態をよくする。

当院では、待合室に『メグスリノキ茶』をご用意しております。

お待ちしておりまする時間にご自由にお飲みください！！